

研究名： 腎摘出に伴う低血圧の検討

1．研究の目的

先天性ネフローゼ症候群、Denys-Drash 症候群、常染色体劣性多嚢胞性異形成腎、Wilms 腫瘍、神経芽腫などの疾患は片腎摘出術もしくは両腎摘出術を必要とすることがあります。腎摘出術は時に術中・術後に著大な低血圧になることが知られています。当院における腎摘出術を行った患者さんの腎摘出前後の血圧の実態を調査し、そのリスク因子を解析します。これらを明らかにすることで腎摘出による低血圧に対する予防策を検討し、今後の診療に役立つことを期待できます。

2．研究の方法

研究対象：片腎摘出もしくは両腎摘出した先天性ネフローゼ症候群、Denys-Drash 症候群、常染色体劣性多嚢胞性異形成腎、Wilms 腫瘍、神経芽腫などの疾患の患者さん

研究期間：倫理審査委員会承認後～2021年3月

研究方法：2002年4月から2019年11月に片腎摘出もしくは両腎摘出した先天性ネフローゼ症候群、Denys-Drash 症候群、常染色体劣性多嚢胞性異形成腎、Wilms 腫瘍、神経芽腫などの疾患の患者情報を後方視的に検討する。

3．研究に用いる試料・情報の種類

患者さんの性別、年齢、疾患、血圧経過、合併疾患、腎摘出、手術経過、治療歴など患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報には調査対象ではなく、個人情報には保守されます。

4．試料・情報の公表

結果は学術雑誌や学会などで公表されますが、その際個人を特定できる情報は一切公表されません。

5．研究実施機関

国立成育医療研究センター

6 . お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2020年2月28日までに下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 腎臓リウマチ膠原病科 西 健太郎

住所：東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181

研究責任者：

国立成育医療研究センター 腎臓リウマチ膠原病科 西 健太郎